

花瀬を駆け抜ける 九州の精鋭が熱戦 九州自転車競技選手権 鹿児島大会

7月12日、「2026年九州自転車競技選手権鹿児島大会」が開催され、九州全県から約130名の選手が参加しました。花瀬地区を周回する1周7.3キロのコースでは、選手たちが日頃の練習の成果を発揮。沿道からの温かな声援を受けながら力強い走りを披露しました。県内での本格的な公式戦開催は、2023年の鹿児島国体以来となりました。



「富尾大地メモリアル」第1回錦江町・田代サイクルロードレースが併催され、町内で自転車競技に励む中高生も参加しました。

これまで塩屋公民館、木原公民館、池田研修センターで開催してきた「出張酒場」。田代地区では初めての開催となりました。



未来づくり専門員山田さんが企画・運営 出張酒場で地域の輪広がる

6月27日、未来づくり専門員の山田有夏さんが企画・運営する「出張酒場」が岩崎公民館で開催されました。上部地区の住民約20名が参加し、食事や飲み物を囲みながら、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。山田さんは「これほど多くの方に集まっていただけたとは思っていませんでしたので、とても嬉しい。今後も町内各地で開催できれば」と笑顔で話しました。

フィンランド生まれのニュースポーツ「モルック」。狙いと戦略が勝負を左右する奥深いスポーツです。12月にはモルックの県大会が錦江町で開催される予定です。



今年で5回目 モルック大会 世代を超えて真剣勝負

今年で5回目を迎えたモルック大会が7月4日に開催されました。今年は町内外から過去最多となる58チーム223名が集結。木の棒（モルック）を投げてピン（スキットル）を倒し、50点ちょうどを目指すモルック。3歳から93歳までの幅広い世代が参加し、世代を超えた熱戦が繰り広げられました。

中学生と地域住民を対象に講演会開催 「あたりまへの介護」を学ぶ

「介護のプロ」と呼ばれる株式会社あおいけあ加藤忠相さんを講師に迎え、本人の思いを大切に「あたりまへの介護」をテーマとした講演会を7月11日に開催しました。講演では、本人の好みや特技、性格を理解し、その人らしい暮らしを支える大切さについて学びました。地域で支え合う介護の在り方を考え、地域共生社会への理解を深める機会となりました。



午前は中学生と保護者、午後は文化センターで一般住民約60名が参加し、幅広い世代が耳を傾けました。

光陽オリエントジャパン(株)鹿児島事業所では11名を雇用し、そのうち9名が本町出身者。地域人材が活躍する雇用の場となっています。



旧宿利原小学校体育館が工場に お茶加工の新拠点 始動へ

旧神川中学校から旧宿利原小学校体育館へ移転・事業拡大した光陽オリエントジャパン(株)は、地域住民27名を招き工場見学会を開催。参加者は茶葉が粉末やティーバッグへ加工される工程を見学、地元産業への理解を深めました。栗脇秀人所長は「支えてくださる地域への感謝を力に変え、この地に雇用と活力を生み、共に明るい未来を築きたい」と語りました。

園児たちからの素敵な贈り物 願いが込められた七夕飾り

大根占幼稚園・田代幼稚園・田代こども園の園児たちが作成した七夕飾りが役場本庁と田代支所に贈られました。田代支所では、園児たちが七夕の歌を元気に披露。また、大根占幼稚園の年長児4名が「お仕事頑張ってください」と笑顔で、鎌田教育長へ七夕飾りを手渡しました。



願いを込めて書いた短冊や、園児や先生たちが手作りした七夕飾りが笹いっばいに飾られ、来庁者の目を楽しませました。

活動拠点となるサポートセンターを田代支所2階に設置。毎週月・水・金の9時～16時まで開設しています。



安全で安心な明るい社会の実現を目指して 大根占保護司会がメッセージ伝達

犯罪や非行のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の内閣総理大臣メッセージを7月2日、大根占保護司会が町長に伝達を行いました。今年で76回となる地域の支え合い活動。新田町長は「明るく住みよい社会の実現に向けて、保護司の皆さんの活動をしっかりとサポートしていきたい」と述べました。